“そのとき”が来たら考えられない

だから今、人生会議

人生会議とは

希望する医療やケアについて、前もって話し合い、家族や医師などと共有しておくことです。

- 命の危険が迫った状態になると、約70%の人が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。
- “そのとき”に備えて、前もって受ける医療・ケアに対する希望を家族や医師に伝えておくことが重要です。

どんなことを考えたらいいの？

もし病気になったら…

◆どんな治療・ケアを受けたいか

例えば…
- 病気と闘って一日でも長く生きたい。
- 延命につながるだけの処置は避けたい。
- 自分が望む生活ができる程度に、苦痛を取る治療を受けたい。

など

◆どんな所で療養したいか

例えば…
- 家族やヘルパーなどの手を借りながら、できるだけ住み慣れた自宅で生活したい。
- 病院や施設で療養したい。

など

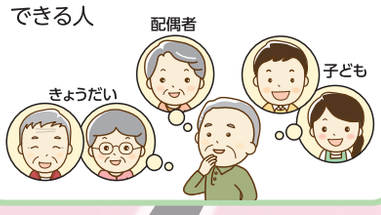
どうやって話し合い、共有したらいいの？

Step 1 治療する際に、大切にしたいことを考えてみましょう

- 家族や友人のそばにいたい
- 好きなことをし続けたい
- 家族に負担をかけたくない

Step 2 もしものとき、あなたの思いを伝えてくれる人を選びましょう

どんな時でもあなたの希望を尊重できる人



Step 3 かかりつけ医に質問してみましょう

- 今後予想される経過は？
- 必要な医療やケアは？

Step 4 希望する医療やケアについて話し合いましょう

- 痛みやつらさがなければできるだけケアを受けたい
- 一人にしないでほしい
- 入院するのはいやだ

Step 5 書き留めておきましょう

話し合った内容は記録として書き残し、周囲と共有しておきましょう。

- 希望や思いは、時間の経過や健康状態によっても変化していくものです。
- 何度も、繰り返し考えていきましょう。

大阪府

あなたも「 人生会議 」をはじめてみませんか？

詳しくはホームページをご覧ください。 大阪府　人生会議 検索

お問い合わせ先　大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課　☎ 06(6944)6025